



# 製品安全データシート

危険記号	保護具	記号
		規定されていません

発行日 2016年9月28日

改訂日

改定番号

## 1. 製品及び会社情報

製品名 Protein G Agarose Beads  
 製品コード 37478  
 推奨用途 人に使用しないこと。 研究上の使用のみ。

会社  
 CSTジャパン株式会社  
 東京都千代田区内神田1-6-10  
 TEL: 03-3295-1630

登録番号 S044

## 2. 危険有害性の要約

GHS-分類

注意喚起語

危険



### 危険有害性情報

- 引火性の高い液体および蒸気
- 強い目刺激
- 吸引すると有害のおそれ
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気およびめまいのおそれ
- 遺伝性疾患のおそれ
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 長期または反復暴露による肝臓の障害
- 長期または反復暴露による神経の障害のおそれ

引火性液体	区分2
急性毒性（吸入:蒸気）	区分5

## 2. 危険有害性の要約

目に対する重篤な損傷/目刺激性	区分2A
生殖細胞変異原性	区分1B
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性 (1 回暴露)	区分3
特定標的臓器毒性/ 肝臓 (反復暴露)	区分1
特定標的臓器毒性/ 神経 (反復暴露)	区分2

### 物理化学的危険性

#### 注意書き:

- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 施錠して保管すること。
- 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分すること。

## 3. 組成、成分情報

製品タイプ 混合物

### 危険有害成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
Ethanol	17.5-28.5%	CH <sub>3</sub> CH <sub>2</sub> OH	2-202	2-9-61	64-17-5

## 4. 応急措置

目に入った場合	多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと水で洗浄すること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口内を洗浄してから十分な量の水を与え、医師に連絡すること。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行うこと。

## 5. 火災時の措置

引火特性	火災発生の可能性
消火剤	周辺状況の周辺環境の応じて適切な消火手段を使う。
不適切な消火剤	棒状放水

## 5. 火災時の措置

化学物質による特別な危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。極めて燃えやすく、熱、火花、火炎で容易に発火する。
消防士のための保護設備及び予防措置	自給式呼吸装置と保護服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
除去方法	吸収性のある材料で覆い密閉式の容器にできる限り集め、残留物を大量の水で洗い流す。
その他の情報	換気する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	十分な換気を確保する。
保管	熱、火花のような着火源から離して保管する。 直射日光や火気を避け、涼しい、換気の良い場所に容器の栓をしっかりと閉めて保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

化学名	日本	ACGIH TLV
Ethanol		STEL: 1000 ppm

**設備対策** 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

### 保護具

目/顔面の保護	サイドシールド付き安全眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	保護手袋。
呼吸器の保護具	必要に応じて呼吸器保護具を使用。

### 適切な衛生対策

正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物質の状態	液体
物理的状态	無色
臭い	特徴的な臭気
臭気の閾値	情報なし
pH	データなし
融点/範囲	-114.1°C
凝固点	情報なし
初留点	情報なし
沸点・沸騰範囲	78.5°C
引火点	13°C
蒸発速度	データなし

## 9. 物理的及び化学的性質

空気中での可燃性限界	上 19vol%	下 3.3vol%
爆発特性	情報なし	
酸化特性	情報なし	
蒸気圧	5.8 kPa (20°C)	
蒸気密度	1.6	
比重	0.7892 (20°C/4°C)	
溶解性	水に可溶、他のアルコール・エーテル・ケトン・クロロホルム・他の有機化合物に可溶	
n-オクタノール／水分配係数	-0.32	
自然発火温度	363°C	
分解温度	情報なし	
粘度	情報なし	

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の状態では安定。
避けるべき条件	熱、炎、火花。
混触禁止物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	通常使用下ではない。
反応性	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硫酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災と爆発の危険をもたらす。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口	LD50 6200 mg/kg (rat)
経皮	LDLo 20000 mg/kg (rabbit)
吸入した場合	LD50 3837 ppmV (rat)

### 慢性毒性・長期毒性

発がん性	区分外。
刺激	区分外。
腐食性	区分外。
感作性	情報なし。
神経疾患	情報なし。
変異原性影響	区分1B。
生殖器への有毒	区分1B。
発生毒性	区分1A。

目標臓器効果 肝臓、神経系。

## 1 2. 環境影響情報

### 生態毒性

化学名	藻類に有毒	魚毒性	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)
Ethanol	EC50 = 1000 mg/L 96 h	EC50 >100 mg/L 96 h		EC50 = 5012 mg/L 48 h

残留性/分解性 情報なし。

生体蓄積性 情報なし。

移動性 情報なし。

## 1 3. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器・包装 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

## 1 4. 輸送上の注意

### IMDG/IMO

IMOの規定に従う。  
 国連番号: 1170  
 国連分類: 3 (引火性液体)  
 容器等級: II  
 海洋汚染物質: 該当しない。

### ICAO/IATA

ICAO/IATAの規定に従う。  
 国連番号: 1170  
 国連分類: 3  
 容器等級: II

### DOT

規定されていません。

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法: 危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号)  
 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号: 9-61)

消防法: 第4類引火性液体、アルコール類

航空法: 引火性液体

船舶安全法: 引火性液体類

## 1 6. その他の情報

改訂日

---

改定メモ

推奨される制限

免責条項

このMSDSの情報は、その公開の時点において弊社の有する知識、情報及び見解の限りにおいて作成されています。提供した情報は、安全な取り扱い、使用、加工、貯蔵、輸送、廃棄及び放出のためのガイドのみを意図としたものであり、品質を保証しているものではありません。この情報は指定した特定の物質のみに関するものであり、他の物質とともに使用する場合、または他のプロセスで使用する場合はこのMSDSに記載のない限り適用されないことがあります。